



## 群馬県コンクール 金賞

# お米のパワーを広めたい

みどり市立笠懸西小学校 4年 和田 虎留

「ご飯は毎食一合以上食べる」

これは、お母さんと僕の約束で、僕が今頑張っている事です。

僕は、大谷翔平選手にあこがれて今年から野球を始めました。

「野球が上手になるためには、ご飯をたくさん食べて身体を強くしなくてはならないよ。」とお母さんが教えてくれました。僕は、少し前にテレビで大谷選手の特集番組があって、高校時代のエピソードを紹介していたのを思い出しました。それは、一日にご飯を丼ぶりで十三杯食べるという食事トレーニングで、入学した時は身長百八十七センチメートルで六十五キログラムしかなかった体重が、高校三年間の努力で百九十三センチメートルで体重が八十五キログラムまでふえて、今の体格を作りあげたそうです。

僕は、食事トレーニングだとしても、毎日そんなにたくさんのご飯をたべていたことに驚きましたが、それと同じくらい、世界で大活躍できる選手を作りあげたのがご飯の力だということにとっても驚きました。毎日当たり前にご飯にそんなにすごいパワーがあったなんて、ご飯を主食とする日本人としてとてもほこらしく思いました。

夏休みにおばあちゃんの家でご飯を食べた時に何回もご飯をおかわりしたら、

「最近、日本人のお米離れが深刻とニュースで見たけど、虎留はご飯をたくさん食べてえらいね。」とほめてくれました。おばあちゃんは昔お米を作った事があるので、お米の作り方やお米を作る農家さんはとても大変だという事を教えてくれました。それを聞いて、僕はお母さんに「ご飯粒は一つも残さずきれいに食べなさい。」といつもいわれていたもので、残さず食べてきてよかったと思いました。

僕は、お米やご飯の事をたくさん知れて、もっとご飯が大好きになりました。僕はこれからも、お米を作ってくれた農家さんやおいしく料理してくれたお母さんに感謝しながら、何よりも自分の身体のためにご飯をたくさん食べたいと思いました。そしていつか、世界で活躍できる選手になって、日本のお米の素晴らしさを多くの人に広めて、みんなが僕と同じように、ご飯が大好きになってくれたらうれしいと思いました。

五年生になるとお米を育てる授業があると先生が言っていました。田んぼに入る事も田植えも稲刈りも、初めてなので僕は今からとても楽しみです。でも一番の楽しみは、自分で育てたお米を食べる事です。どんな味なのか今からとてもワクワクして待ち遠しいです。